

I 学校教育目標 人権尊重の精神を基盤に、心豊かにたくましく生きる児童を育てる		II 前年度に残された課題				III 本年度の重点課題				IV 来年度に残された課題									
○規範意識の低下について…昨年度の児童アンケートの結果、2割の児童が、きまりをあまり守っていないと答えている、「名札を付けること」「廊下を歩くこと」など、基本的な約束事を守れるよう、全校で指導を徹底する。				1 心の居場所づくり…個々の違いや多様性を認め合うとともに、自己肯定感を高め、心の居場所づくりを進める。				○規範意識の低下について…昨年度よりできたと答えた児童は増えているが、「名札を付けること」「廊下を歩くこと」など、基本的な約束事を守れるよう、全校で指導を徹底する。				○外遊びについて…外遊びに関してはまだ80%に満たず、引き継ぎ運動集会やクラス遊び等、身体を動かす機会を増やすことで、運動意欲向上につなげる。							
○読書活動について…昨年度、学校文庫の充実や給食時間の読み聞かせ、読書タイムの設定等の取組を通じて、本当に親しむ児童の割合は増えているが、保護者の評価は相変わらず5割程度と低いままである。家庭での読書習慣につながるよう、保護者のとの連携及び啓発活動を進めること。				2 あいさつをする…いつでも誰にでも自ら進んであいさつをする習慣をつける。				○外遊びについて…外遊びに関してはまだ80%に満たず、引き継ぎ運動集会やクラス遊び等、身体を動かす機会を増やすことで、運動意欲向上につなげる。				○授業研修について…引き継ぎ授業研修に重点を置き、児童の学力向上につなげる。							
○外遊びについて…外遊びに関しては、外遊びを積極的に行う児童がまだ80%に満たず、引き継ぎ運動集会やクラス遊び等、身体を動かす機会を増やすことで、運動意欲向上につなげる。				3 すくさんではたらく…キャリア教育を充実させるとともに、責任を持って取り組む気持ちを高める。				○規範意識の低下について…昨年度よりできたと答えた児童は増えているが、「名札を付けること」「廊下を歩くこと」など、基本的な約束事を守れるよう、全校で指導を徹底する。				○外遊びについて…外遊びに関してはまだ80%に満たず、引き継ぎ運動集会やクラス遊び等、身体を動かす機会を増やすことで、運動意欲向上につなげる。							
1 「重 要 点 課 題 番 号 目 」	[2]具体的達成目標と評価指標		[3]自己評価		[4]外部アンケートの分析		[5]自己評価		[6]学校関係者評価		評価者人数 9人		評価日 2月15日						
	具体的に何を、いつまでに、どの水準まで、数値化		中間評価		児童生徒アンケート 保護者アンケート		最終評価(成果と課題)		課題の改善策等		評価者人数 9人		評価日 2月15日						
1 「心 の 居 場 所 づ く り 」	評 定	評価日 7月19日 公表日 4月8日	実施日 12月13日 公表日 3月18日	実施日 1月21日 公表日 2月21日	評価日 1月15日 公表日 2月15日		評定		評価者人数 9人		評価日 2月15日		評価者人数 9人						
		□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他	□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他	□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他	□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他		□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他		□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他		□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他		□ ホームページ □ 文書配布方法 □ 説明会実施 □ その他						
1 「心 の 居 場 所 づ く り 」	B	○綱引活動(なんばばタイム)年間18回を活性化させること。				○たんばばタイムで6年生を中心とした綱引活動を行った。				○学校は、じいじのない学校づくりに取り組んでいた。○人権参観実施の児童理解を充実させるとともに、いじめの防止、早期発見に努めた。また、レジリエンス、カウンセリングマインド等の研修を実施する。				○これからも、なまづくり大切に、じいじのない学校づくりを進めていただきたい。一人一人の児童が学校が楽しいと感じられるように取り組んでいく。					
		○教職員の児童理解「子どもを見つめ」を充実させるとともに、いじめの防止、早期発見に努めた。また、レジリエンス、カウンセリングマインド等の研修を実施する。				○保護者が見つめ「子どもを見つめ」で実現。○教員研修「子どもを見つめ」を行い、職員会議で「子どもを見つめ」を行った。				○人権意識については、引き継ぎ児童に徹底したい。教職員が、道徳やアガーマネージメント、レジリエンスなどを研修し、より効果的に指導する能力を高めたい。				○学校での活動で保護者にわかりにくいでいるが、じいじをなくす活動としてどんな取組をしているか知らせることが必要である。					
1 「心 の 居 場 所 づ く り 」	A	○人権参観実施、自己肯定感、自己有用感を高める取り組みを進めること。				○たんばばタイムで6年生を中心とした綱引活動を行った。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と感じる達成できた。				○学校での活動で保護者にわかりにくいでいるが、じいじをなくす活動としてどんな取組をしているか知らせることが必要である。					
		○教職員が児童理解「子どもを見つめ」で実現。○教員が率先して笑顔で自分から挨拶をする。				○児童が見つめ「子どもを見つめ」で実現。○児童が見つめ「子どもを見つめ」で実現。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と感じる達成できた。				○学校での活動で保護者にわかりにくいでいるが、じいじをなくす活動としてどんな取組をしているか知らせることが必要である。					
2 「あ い さ つ を す る」	B	○生徒指導及び委員会等によるあいさつ運動を充実させること。				○たんばばタイムで6年生を中心とした綱引活動を行った。				○児童参観の実施で「子どもを見つめ」で実現。○児童参観の実施で「子どもを見つめ」で実現。				○これからも、なまづくり大切に、じいじのない学校づくりを進めていただきたい。					
		○あいさつタウン南・ネットワーク等と連携したあいさつ運動を実施する。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○学校での活動で保護者にわかりにくいでいるが、じいじをなくす活動としてどんな取組をしているか知らせることが必要である。					
3 「す す ん で は た らく」	A	○生徒指導及び委員会等によるあいさつ運動を充実させること。				○校長と養護教諭、特別支援学校担任が昇降口で毎朝登校児童にあいさつを行った。				○児童参観の実施で「子どもを見つめ」で実現。○児童参観の実施で「子どもを見つめ」で実現。				○これからも、なまづくり大切に、じいじのない学校づくりを進めていただきたい。					
		○教職員が率先して笑顔で自分から挨拶をする。				○児童が見つめ「子どもを見つめ」で実現。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○学校での活動で保護者にわかりにくいでいるが、じいじをなくす活動としてどんな取組をしているか知らせることが必要である。					
4 「生き て 働く 知識 ・技 能 を 高 める」	B	○キャリア教育を充実させること。				○各学年で計画を立て、日直や当番活動にしっかりと取り組める指導を進めること。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分の子どもが「あいさつをだれにでもできるようになったのは、「あいさつ」を重点課題にして取り組んでいる二小の環境が影響している。学校が好きでいる、いとこもいる、おしゃべり添いの、子供の声を聞いて、それを学校に届ける役割がある。					
		○清掃活動、当番活動の指導を工夫し、それぞれを充実させること。				○各学年で計画を立て、日直や当番活動にしっかりと取り組める指導を進めること。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分の子どもが「あいさつをだれにでもできるようになったのは、「あいさつ」を重点課題にして取り組んでいる二小の環境が影響している。学校が好きでいる、いとこもいる、おしゃべり添いの、子供の声を聞いて、それを学校に届ける役割がある。					
5 「出 前 授 業 学 び 体 験 活 動 を 通 し て	A	○オープン授業やチャレンジ授業、授業ミニティームによる指導を進めること。				○放課後学習タイム、夏休み学びタイムの実践を行い、努力の向上に努めた。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分の子どもが「あいさつをだれにでもできるようになったのは、「あいさつ」を重点課題にして取り組んでいる二小の環境が影響している。学校が好きでいる、いとこもいる、おしゃべり添いの、子供の声を聞いて、それを学校に届ける役割がある。					
		○「自分の意見を進んで発表している」「学習することが楽しい」という児童アンケート結果を85%以上にする。				○各学年で計画を立て、日直や当番活動にしっかりと取り組める指導を進めること。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分の子どもが「あいさつをだれにでもできるようになったのは、「あいさつ」を重点課題にして取り組んでいる二小の環境が影響している。学校が好きでいる、いとこもいる、おしゃべり添いの、子供の声を聞いて、それを学校に届ける役割がある。					
5 「出 前 授 業 学 び 体 験 活 動 を 通 し て	B	○学校行事や出前授業、体験活動を経験するところでの内容を充実を図る。				○冬学期で体験活動、出前授業などを順次進めることで、個別に課題を設定し、学びを深めることができている。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分が分かりやすい授業を目指すとともに、主体的に学習しているように取り組んでいく。					
		○目標を達成する経験を通して自己肯定感を高める指導を用いて取り組む。				○冬学期で体験活動、出前授業などを順次進めることで、個別に課題を設定し、学びを深めることができている。				○「おじいちゃんが学校が楽しい」と答えた児童アンケート結果を90%以上にする。				○自分が分かりやすい授業を目指すとともに、主体的に学習しているように取り組んでいく。					

6 「進んで本に親しむ」	<p>○学級文庫を整理し、充実させる。 ○図書館等と連携し、読み聞かせを充実させる。 ○学校司書を中心とする学校図書館を整理し、蔵書を充実させる。 ○読書タイムを設定し、全校で読書時間に取り組む。 ○給食時間に職員が離れて読み聞かせを行う。 ○「すすんで本を読んだ」についての児童・保護者アンケート結果を85%以上にする。</p>	<p>○低学年は週1回の図書の時間を設け、学校司書による読み聞かせを行なっている。 ○1・2年はクラス担任が毎日、1・2・3年は生駒お話会の方が学期に1回に、またすべての学年で地域ボランティアが学期に1回読み聞かせを行なっている。 ○学校司書による読書指導も繰り返し行われているので、さらに、読書に向かう気持ちを高める指導を進めていた。 ○給食時間に、児童・職員・司書が読み聞かせを行なう。</p>	<p>○「自分から進んで。たくさんの中を読んでいる」について昨年度より4ポイント上がり87%の児童がおおむねあてはまると回答。</p>	<p>○「お子さんは、進んで本を読むなど読書の習慣が身に付いている。」について昨年度より3ポイント下がり52%の保護者が、おおむねあてはまると回答。</p>	B	<p>○読書タイムや読み聞かせ、学級文庫の充実、図書委員会の取組が、児童の読書意欲の向上につながった。中でも、全校一齊に本を読む「読書タイム」は教師も児童も楽しむに感じる。また、保護者の子ども時代に読む「読書タイム」は教師も児童も楽しむように取り組んでください。お話しをしていくことが大事であると考える。</p>	<p>○これからも読み聞かせの充実や学校司書の取組を進め、本の魅力を伝えていきたい。 ○家庭でも、読書の習慣が高まるよう取り組んでください。お話しをしていくことが大事であると考える。 ○今後も、地域ボランティア・生駒お話の会・保護者に、読み聞かせをしていただく。</p>
7 「楽しんで歌を歌う」	<p>○今月の歌を設定し、全校朝の会で歌唱し、各教室でも取り組む。 ○学年交流を行い、いろいろな音楽に触れる機会を作る。 ○1年に1回、音楽参観を実施する。</p>	<p>○大きな声で歌唱することや鍵盤ハーモニカやリコーダーを長時間吹くことができ、指導が徹底できるようになった。 ○6年で音楽参観を実施し、1~5年は演奏を絵画したもの保護者に視聴していただいた。 ○今月の歌を練習し、全校朝の会で歌った。</p>	<p>○「音楽の時間は、楽しく合唱や合奏をしている」について、昨年度より3ポイント下がり、95%の児童が、おおむねあてはまると回答。</p>	<p>○項目なし</p>	B	<p>○教材を工夫することにより、音楽の授業を楽しむ児童が増えた。 ○全学年合唱と合奏を行い、発表に向けて練習に取り組む中で、学年全体で音楽を作り上げる楽しさを味わわることができた。 ○学年交流を行うことで、下学年に「みんな演奏ができるようになりたい」という目標を持たせることができた。</p>	<p>○来年度も「今月の歌」を設定し、全校朝の会で歌う。 ○異学年交流を行い、いろいろな音楽に触れる機会を作る。 ○1年に1回、保護者に発表する合唱合奏の取組を実施する。</p>
8 「楽しんで体を動かす」	<p>○体力向上推進プランニングシート及びスポーツテストの結果等を活用した取組を進めること。 ○投力・跳躍力を伸ばすための取組を行う。 ○スポーツタイムや朝の体幹作り体操を実施する。 ○委員会によるスポーツ大会等を充実させるなど、児童に対して外遊びを奨励する。 ○教師が外遊びをするよう声をかけるとともに、率先して体を動かす。 ○「外遊びをする」についての児童アンケート結果を80%以上にする。</p>	<p>○朝の体幹作り体操を実施している。 ○ショート大会などの体育委員会の取組が順調に進んでいる。さらに外遊びが楽しくなるような取り組みを進めていた。 ○毎週金曜日の昼休みにスポーツタイムを設定し、職員・児童全員外遊びを行なっている。</p>	<p>○「運動することは楽しいと思う。」について、昨年度より5ポイント下がり、91%の児童が、おおむねあてはまると回答。 ○「体育の学習に一生懸命取り組んでいる。」について、昨年度と同程度で、95%の児童が、おおむねあてはまると回答。 ○「休み時間にはできるだけ外遊びをしている。」について、昨年度より5ポイント上がり、76%の保護者が、おおむねあてはまると回答。</p>	<p>○「学校は、児童の体力を高めるための取組を行っている。」について、昨年度より5ポイント下がり、91%の保護者が、おおむねあてはまると回答。 ○「お子さんは、進んで体を動かしたり、運動に取り組んだりしている。」について、昨年度より1ポイント上がり、76%の保護者が、おおむねあてはまると回答。</p>	B	<p>○90%を超える児童が体育の授業に積極的に取り組み、運動することは楽しいと感じているが、休み時間に外で遊ぶ児童は限られている。全員が外に出て体を動かす取組を考えたい。 ○毎週金曜日をスポーツタイムに設定しクラス全員が担任と一緒に外遊びをする日にしている。筋肉が加わることで、運動が苦手な児童も安心してゲームに参加できている。 ○朝の体幹トレーニングの動きについて、今年度は投力の向上を目指す動きを取り入れるなど、リニューアルした。</p>	<p>○できるだけ外遊びがしたくなる環境を整えるなど、体力向上に取り組んでいたい。ボールなどの道具や遊びとなるような掲示などを工夫して行なう。 ○運動集会に向け、クラス全員参加で取組を進める。 ○スポーツタイムの取組を継続して行う。 ○食育や健康教育に取り組んでいく。家庭でも食育を意識してもらえるよう啓蒙していく必要がある。</p>